

保存版



PTAって任意なんでしょう？
入らないと子どもが損をするってほんと？
PTA会費、いつの間にか取られてたんだけど？
PTA、別になくなったっていいんじゃない？



→ PTAについて知りたかったこと
全部、答えます

PTA、どうする？

SAITAMA City
PTAガイドブック

01

PTAは任意って本当？

はい、PTAは任意加入の社会教育関係団体です。PTAは保護者に対して加入を強制することはできません。また、なんらかの方法で加入の意思確認が必要です。活動の充実のためには、保護者の皆さんの協力が必要です。すべての子どもたちのための活動であることをご理解いただき、より多くのご参加をお願いします。

02

PTAに入らないと、
子どもに不利益があるの？

No

PTAの会費や活動は、わが子のためだけでなく、すべての子どもたちのためのもので、保護者の加入・非加入による子どもへの影響がないようにみんなで配慮する必要があります。

03

学校の集金とPTAの集金とはどう違うの？

学校とPTAは別の組織なので、集めたお金は別々に管理されています。集金方法は学校により異なりますが、現金での集金か口座振替の利用がほとんどです。用途についてはそれぞれ保護者会やPTA総会で報告されるので、確認しましょう。

04

学校に伝えている個人情報
がPTAを通じて他の保護者に知られてしまうのでは？

学校は「個人情報保護法」に則り、個人情報を利用目的以外で、学校からPTA等に個人情報が提供されることはありません。氏名や居住地区など最低限の情報について、PTAから提供を依頼し、学校は本人の同意を得たうえで提供します。PTAは、登校班の編成や役員選出などにこれらの情報を使用しますが、外部に漏れないように適切に管理しています。

加入編

「PTA」と聞いて
身構えてしまうあなたへ

わたしたち子育て世代の暮らしは大きく変わってきています。従来のライフスタイルを前提としたPTAのあり方では、参加が困難になる人が増えている状況です。PTAは「子どもたちの学ぶ環境をよくしていきたい」という保護者と先生方の自発的な気持ちから成り立っています。

このガイドブックは、実際にさいたま市PTA協議会（市P協）に寄せられた質問から構成されています。PTAについて考える際の参考にしていただければと思います。

もう少し詳しく見てみましょう

登下校の見守りや防犯パトロールも、PTAの大切な役割。地域の協力も得ながら、みんなで、すべての子どもを守っています。

学校や各PTAによって、配慮の方法は様々です。

PTA、非加入の親、学校、それぞれが協力して、子どものために考える必要があります。

本部役員さんの負担が少ないのは口座振替ですが、学校の集金と一緒に引き落とされる場合、「気がつかないうちにPTA会費を取られた」と感じる人もおられるかもしれません。

引き落とされている金額の内訳は学校やPTAからのお手紙で把握しましょう。本部役員さんは周知を徹底しましょう。

個人情報の取り扱いについて、年度初めなどにお手紙で説明しているPTAも多くなってきました。みなさんの学校ではどのように配慮されているか、確認してみましょう。本部役員さんは、これを踏まえて、適切な取り扱いを徹底しましょう。

PTAについて知りたかった 8つのこと

05 できる人ができる時 が大原則

仕事や介護、家庭の事情などでどうしても活動が難しい……？ 無理をする必要はありませんが、もしなにか取り組めそうなことがあったら、参加してみましよう。「今年は難しいけど来年なら」と考えてみるのも一つの方法です。



無理強いをせず、「お互い様」の気持ちを大切に。また、今までの形に固執することなく、保護者の現状をふまえて活動しやすい環境づくりをすることも大切です。

06 女性が多くて 男性はかかわりにくい……？

現状は女性が多い活動です。しかし、男性だからこそできることもたくさんあります。夜間パトロールや行事の準備などで男性も活躍しています。「おやじの会」を立ち上げ、パパ主催ならではのイベントを開催する例も増えています。(7ページに関連記事あり)

07 PTA役員をやってる人は、なぜやってるの？

きっかけは……くじ引き!? とか、理由はさまざまです。が、取り組むなかで学校のことを知り、保護者同士の親睦が深まることで、子ども同士の関係も良くなります。保護者が一緒に学校にいて、子どもの安心感になったり。最後には、「やって良かった」と言う人が多いのも事実です。

08 実際PTAってなくなったら どうなるの？

PTAは学校・地域・家庭をつなぐパイプ役です。先生や保護者の負担は、むしろ増えます。結果、子どもの教育環境も悪化します。学校を取り巻く人間関係が希薄になり、子どもはもちろん、地域にまで影響が及びます。防犯・防災への意識にも影響してしまいます。子育て世代の保護者たちが、PTAを通じて学校や地域とかかわりを持つことは、本当に大切なのです。

活動編

これからのPTAはどうなっていく？



活動の変化

働くママの増加
介護と子育ての両立
児童生徒数および
会員数の減少



活動の負担感増

今の時代の課題と向き合う

時代の変化に応じた取り組みで
意義ある活動に

1 活動しやすい環境づくり

各校PTAでは、会員が感じている活動関連の悩みを試行錯誤しながら解決しようとしています。同じ学校に子どもが通う保護者同士一緒に考えることで、解決の糸口が見えてくるかもしれません。

くるかもしれません。

市内のPTAで実際に行われている取り組みをいくつか紹介します。

- ・パトロールや朝当番の日数を減らす代わりに、全保護者に対して自転車への防犯プレート設置を呼びかけた。
- ・委員会の時間を午後や夕方に。
- ・公民館を利用し夜間の活動を。
- ・会則を改正し委員の人数を削減。

「やってよかった!」と思える活動を役員や保護者に感想を聞いてみました。

- ・職員室に気軽に入れるようになった。校長先生や教頭先生に顔を覚えてもらったのも地味に嬉しい。
- ・地域の人とかかわりを持てた。我が子が地域に育てられていることを実感した。
- ・人脈ができた。先輩ママから中学の情報をもらえて心の準備ができた。
- ・自分たちが作った広報紙を子どもが誇らしげな顔で持って帰ったのが嬉しかった。

「お金」を知ると PTAが見えてくる

PTAの活動は、主に会員から集める会費でまかなわれています。総会資料に載っている予算案と決算報告を見れば、一年間の活動内容がわかります。

■主な収入

**バザー（PTA祭り）等
収益金**
手作り品やリサイクル品の販売など形態はさまざま。

PTA 会費

集金単位：児童生徒あたり、1家庭あたりなど
集め方：現金集金・口座振替・決済代行など
学校教育振興費や学校協力費、後援会費などの名目の会費を集めているPTAもあります。※無いPTAもあります。

寄付・補助金など
企業が取り組む社会貢献のための寄付の受入や、助成団体による事業への補助金などを活用しているPTAもあります。

資源回収活動補助金

回収した資源物の売却収益や回収活動への補助金

* 円グラフはイメージです。項目ごとの割合を正確に表したものではありません。

■主な使いみち

子どもたちの教育環境向上や、PTA主催・共催のイベントやPTA活動（講演会、研修会、広報紙の発行、環境美化活動など）、PTA運営に係る事項（保険料や事務費など）などに使われています。こうした使い道は、各学校の歴史や学校規模、事情に応じて、その時々の方がよく話し合ってきた経緯があります。各学校によって様々な使いみちがありますね。



保護者向けの学習講座・教養講座



PTA文庫の整備



パソコンなどの備品



PTA活動



PTAで使用する文具



PTA活動の保険

PTAが使用するOA機器、校内掲示物、児童・生徒の活動補助、花壇やプリンターの整備、防犯パトロール用のベスト、などに様々な使いみちがありますが、子どもたちが安心して学校生活を送り健やかに成長できるように、また、会員同士が共に学びあい成長できるように、各校のPTAが総会等で審議の上、支出が行われます。

特色ある活動事例

- ・ 体育館で映画鑑賞会
- ・ 校庭で星空観察会
- ・ 各種スポーツ大会
- ・ 中学校で学校対抗生徒スポーツ大会
- ・ 卒業生の保護者が在校生の保護者に向けて受験の体験を語る勉強会を開催。受験生のための食事のアドバイスなども
- ・ 保護者の高校見学会
- ・ 防災キャンプの開催



親子で一緒に楽しむ活動【キャンプファイヤー】

- ・ 地域の防災訓練へ参加
 - ・ 広報紙で学校の防災設備等についての特集記事を発信
 - ・ 子どもたちと一緒に考え取り組む「ジョブボーン」。読み終えた本を必要の人に届ける活動
- 注目！ おやじの会**
- 男性の力を生かしたダイナミックな企画が子どもたちに人気の「おやじの会」。さいたま市内のお父さんたちの活動を紹介しましょう。
- ・ 消防団メンバーによる校庭でのキャンプファイヤーや焼き芋
 - ・ 竹を組んでの流ししようめん
 - ・ ヤギの飼育を通じて、動物とのふれあい体験や地域との交流

さいたま市PTA協議会

（市P協）つてなに？

学校のPTA

区PTA連合会

さいたま市PTA協議会

日本PTA全国協議会

主な事業内容

- ・ 役員セミナーの開催
- ・ 広報紙づくり講習会・広報紙コンクールの開催
- ・ 人権講演会の開催（共催）
- ・ 館岩少年自然の家視察研修・環境整備
- ・ 教育委員会との交流会

さいたま市PTA協議会は、市内の国公立小中特別支援学校PTAから構成され、PTA活動の発展と児童生徒の福祉の増進のためのさまざまな取り組みを行っています。

講習会や交流会の企画・運営や、会長会・副会長会などの定例会を開催しています。会長会は、他校の取り組みや違いを知り、会長同士で学び合う環境づくりをしています。


実績例

PTAの立場から地域や行政に提言を行い、児童生徒のためのさまざまな施策の実現に貢献しています。

「さいたま市学校安心メール」の使用について提言。さらに「さいたま市自転車のみちづくり推進条例」のヘルメット着用などについて、学校と保護者の連携を提言しました。

また現在、市内すべての小学校と特別支援学校に警備員が配置されていますが、これも市P協の要望もあり実現したものです。政令指定都市では初の取り組みです。

このガイドブックに記載されている内容については、必ずしも各校PTAの状況を反映したものではありません。まさに現在取り組んでいる課題もあるかもしれません。保護者のみなさまが、よりよいPTAづくりに関わっていただければ幸いです。



PTA、やってみる？

さいたま市PTA協議会

〒330-8501 さいたま市大宮区吉敷町

1-124-1 大宮区役所 4 階

TEL 048-647-4401 FAX 048-647-4414

hotline@saitama-city-pta.jp

<http://www.saitama-city-pta.jp/>